



羅針盤

昨年につづき、またまた毎日コロナ感染者数を気にしながらの年明けとなり、まだピークが見えていません。元旦には心新たに一年の計を立てた方も、燎原の炎のように国土を覆う感染者数を毎日ニュースで見ると、まだ2月なのに計画中止が頭をかすめて心がくじけ、胸を弾ませて前に進む気持ちになれないかも知れませんね。しかし、物事には始めがあれば必ず終わりがあるものです。あの時は・・・と思い出話になることを信じて、今はマスク生活で出来ることで我慢しましょう。テレワークから思わぬ新しい発見ができるかもしれません。

今年の冬はラニーニャ現象で例年より寒さが厳しい日が多く、本当に地球温暖化なのかと思いますが、大寒が終われば立春です。四季の有る日本ならではの花々、梅桃桜の開花前線が北上して心を和ませてくれます。ただ春は良いことばかりではなく、あの憎らしい「花粉」もやってきていますから、ここは対策をなさってください。その先は、この夏の北日本は暑くなりそうという説が出ています。気象庁の発表は未だですが、1月15日にトンガで海底火山が噴火したことによる噴煙量による冷夏もありうること。南半球での出来事ですので日本への影響はまだ不明らしいですが、地震も含め、とにかく明日のことは不明です。最低限の災害準備をして・・・春よ来い、早く来い。

Market Forecasts by Y. san -2月-

1月予測の自己評価 鉄スクラップ：× 銅：○ アルミ：○

鉄スクラップ



1月は価格指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格が53,500円で始まり、13日に500円/トン下落、29日現在53,000円/トンと大きな動きは無しでした。2月はオミクロン株の感染拡大が自動車生産や建築現場に影響することや、海外価格の上昇からスクラップ価格は上ると考えられます。

銅



銅スクラップの1月はLME9,690ドル/トン、国内銅建値1,180,000円/トンからスタートしました。29日現在の価格はLME9,500ドル/トン、国内銅建値1,190,000円/トンです。2月は円高傾向ですので下がると考えられます。

アルミ



1月はLME2,800ドル/トンからスタートし、ウクライナ危機で主要供給国ロシアの供給懸念が広がっているためスクラップ価格は上昇しました。29日現在3,100ドル/台。2月もさらに上がると思われれます。

産業廃棄物

分別対象のプラゴミが4月から今まで以上に多くなり、分別が厳しくなります。産業廃棄物は、現場から分別せずに中間処理場に持ち込ケースが多くみられ、万が一火災になれば処分場は稼働が停滞、排出事業者等多くの方々に迷惑がかかります。異物は発生現場できちんとした分別が必要です。

Topics

適正処理困難物と拡大生産者責任

私たちの身の回りの廃棄物は産業廃棄物と一般廃棄物に大別されています。一般廃棄物は市町村の区域内での処理を原則としておりますが、処理が難しく苦慮しているものがあります。廃棄物処理法では(第6条の3)で、「環境大臣は、一般廃棄物のうち全国各地の市町村で適正処理が困難となっていると認められるものを指定することができる」と定めております。「適正処理困難物」とされている品目です。

現在、一般家庭から廃棄されるタイヤ・テレビ・冷蔵庫・スプリング入りマットレスの4品目(製品)が指定されており、これらの処理が適正に行えるように、市町村長は製品の製造、加工、販売等を行う事業者に対し必要な協力を求めることができます。

また、市町村によっては前述4品目以外でも処理が困難な品目を指定し専門業者に処理を任すケースも見受けられます。従来、家庭から出される一般廃棄物は、市町村に処理を行う責任があるのに何故?と疑問を持ちますが、市町村の処理設備では処理が困難ということであれば仕方がないのでしょう。

一方、メーカーなどの生産者が製造・販売した商品が廃棄物になった際に、その生産者が引き取りや処理、リサイクルなどの責任を負う拡大生産者責任(EPR:Extended Producer Responsibility)という考え方があります。

EPRは製品の処理責任を、地方自治体からその製品のライフサイクルの上流部門である生産者へと移し、生産者に製品設計の段階で環境に配慮するように動機を与えるというもので、OECD(経済協力開発機構)がガイドランス・マニュアルを策定し公表しております。

その中でEPRとは、従来、製造業者と輸入業者に課されていた環境責任(労働者の安全性、生産工程からの環境負荷物質の排出抑制や処理、生産工程からの廃棄物を適正に管理する財政的・法的責任)を使用後段階における製品の管理にまで拡大したものとしております。

このEPRの考え方から、前述の適正処理困難物に指定されている4品目以外の品目についても、家電リサイクル法、容器包装リサイクル法、自動車リサイクル等の個別のリサイクル法での品目指定、資源有効利用促進法による事業者への自主的な取組等を求める品目指定(パソコン、二次電池等)など、処理の責



Series

「難読 名字です」



TML株式会社 運輸部 上築 利信

こんにちわ、TMLの上築です。新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」が収束せず、何かと不便の多い毎日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。

第2回目の投稿になります。今回は名字についてお話をさせていただきます。私より珍しい名字の方は多くいらっしゃると思いますが私の「上築(かみやな)」の名字は、ネットで調べますと全国で約70人(もう少し少ないようですが)だそうです。

顕著に見られる市区町村は、鹿児島県 薩摩郡さつま町 永野だそうで、私の父が同居所の出身です。都道府県順位ですと1位:鹿児島県(約40人) 2位:兵庫県(約10人) 3位:静岡県(ごく少数) 茨城県(ごく少数)と有りますが、私を含め、両親と兄弟が東京に居ますのに、順位に入っていないので信憑性に欠けているのでは...

名字の由来と語源を探すと、鹿児島県薩摩郡さつま町永野の小字(こあざ=住所の単位のようなもの)の築平。同地に江戸時代門割制度(薩摩藩で実施された土地制度。4、5軒を単位とした門(かど)と呼ばれる農民団体を単位として耕地を配分した)の上築平門があり、門による明治時代に新たに付けた名字(明治新姓)と有ります。

「上築」の築は、川の瀬などで魚をとる仕掛けの一つで、木・竹を並べて水を一か所に流すようにし、そこに来る魚を、斜めに張った簀(す)などに受けて捕らえる漁です。

以前、ワタナベエンターテインメントに所属をしていたお笑いコンビのテンゲンさん、ツッコミ担当の上築裕尚(かみやなひろたか)さんは静岡出身で、父の親戚も静岡県に居ますので、遠く離れた?親戚なのかも知れません。難読姓からでしょう、ひらがなを芸名に用いることが有るそうです

初対面の方へ名前の漢字を説明することが多く「竹書いて、左にさんずい、右に刀で、刀の外に点が二つ、下に木」とお伝えしたり、梁(はり)の上に竹と説明を何度とした事でしょうか...

回数も多く、子供の頃は書くのも大変でした。高校の音楽の授業で先生が出席を取るのですが、何度説明しても覚えてもらえずに「かみちく」と呼ばれ、そのままあだ名となりました。

子供の頃は「かみ」、高校で「ちく」でしたが、今の職場では「やな」と呼ばれる事が多くなりました。

弊社へお越しの際、私を見かけた方はお気軽にお好きなように読んで頂けますと、羅針盤への投稿真実に尽きますので宜しくお願い致します。今回はこの辺で!

➤ 任が製造や販売等に関わる事業者へ移っております。今後も製品の処理責任を考える上で「作りっ放し」「売りっ放し」は通用しなくなり製品に関係した事業者の責任が大きくなってまいります。